御 嶽 山

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動状況

・噴気など表面現象の状況（図４、図２－①）

三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約 14km）に設置してある遠望カメラでは、山頂付近のごく少量の弱い噴気が時々観測されました。

・地震や微動の発生状況（図２－②③、図３）

山頂付近の浅い所を震源とする火山性地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図２－④⑤⑥）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

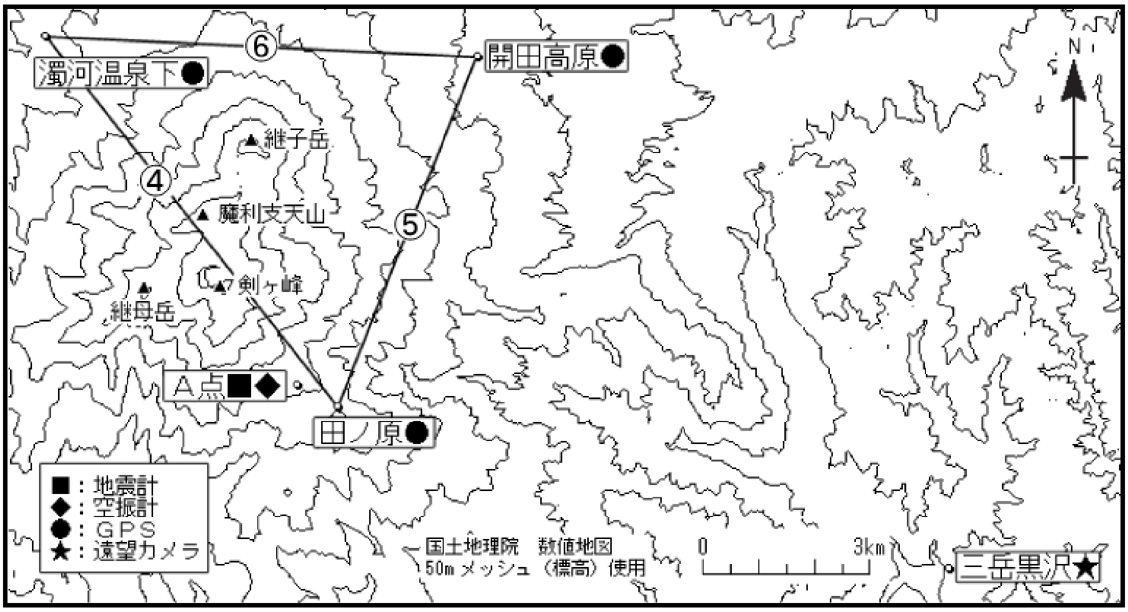

図１　御嶽山　気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
図中の GPS 基線④～⑥は図２の④～⑥に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年１月分）は平成 20 年２月７日に公表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

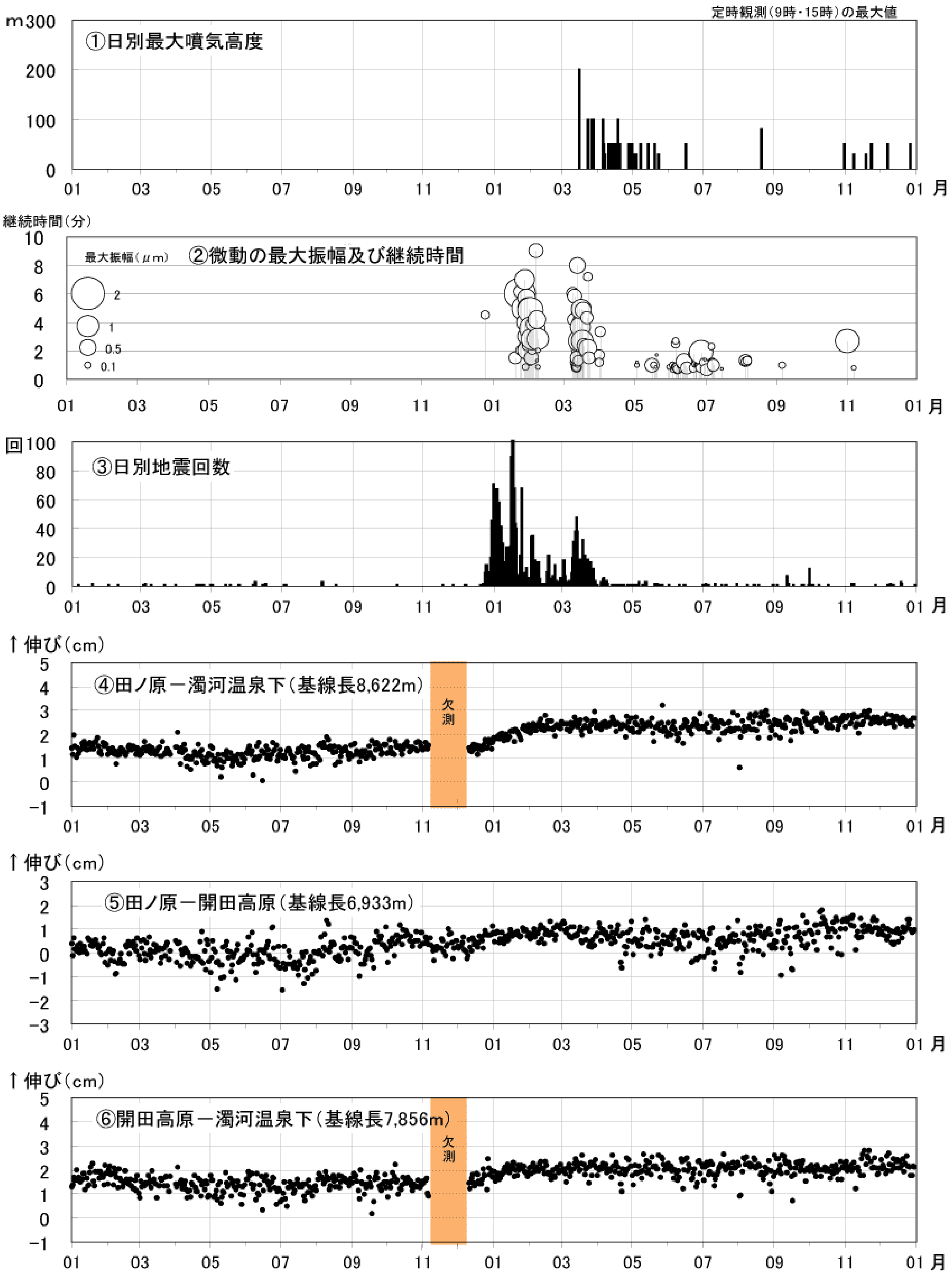

図２　御嶽山　最近の火山活動の推移（2006 年１月１日～2007 年 12 月 31 日）
図中④～⑥は図１の GPS 基線④～⑥に対応しています。

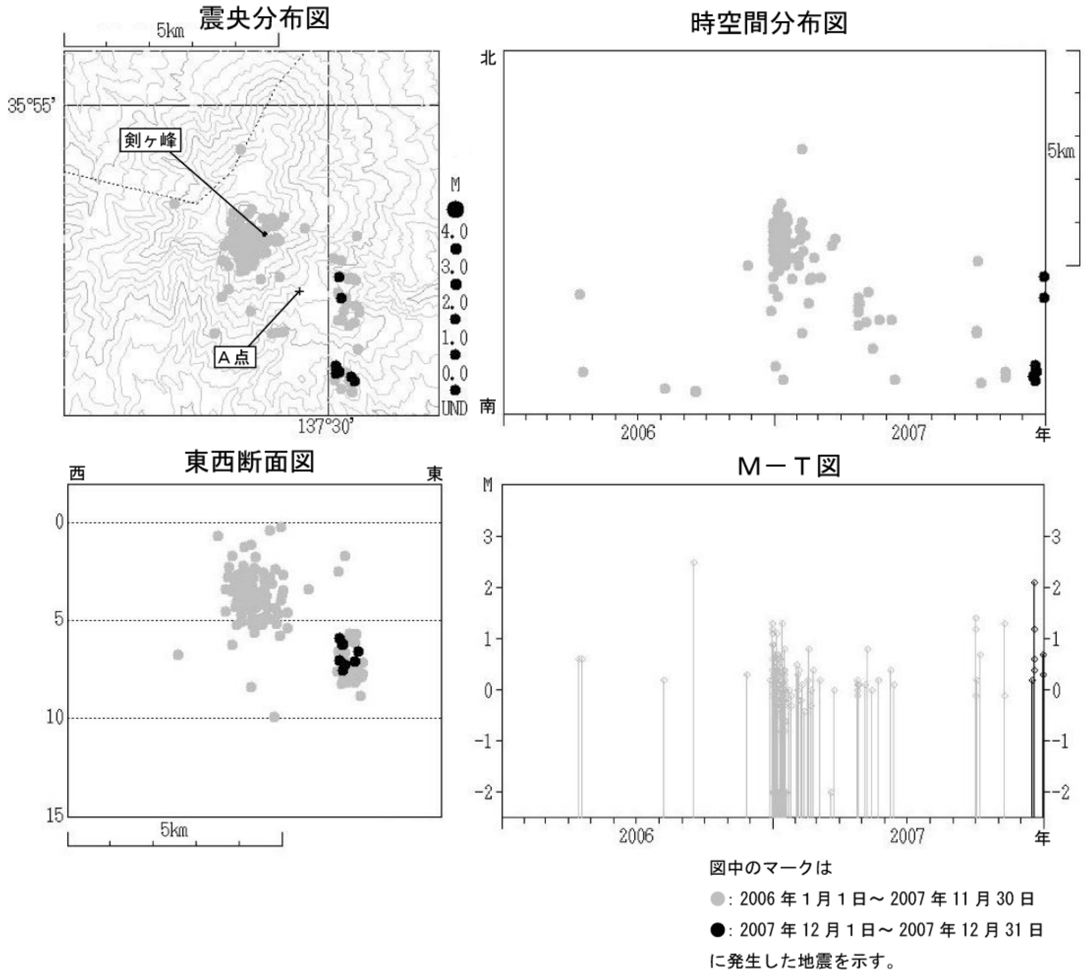

図３※　御嶽山　山頂付近の地震活動（2006 年１月１日～2007 年 12 月 31 日）
＋印は気象庁地震観測点（Ａ点）の位置を示しています。Ｍ（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

図４※　御嶽山　山麓のカメラで見た山頂部の状況（12 月 27 日　三岳黒沢遠望カメラによる）